中学理科プリント（書き取り）
火山・地震・地層 No.7

名前

得点 ／22

1. 川から海へ流れる水が急に広がる河口付近において、粒が最も大きいものから順に堆積していくが、その最初の成分を何という？
2. 地下の深い場所でマグマがゆっくりと冷えて固まり、等粒状組織を持つ深成岩の代表例として挙げられる、黒っぽい岩石を何という？
3. ある地層がいつの時代にできたものかを知るために使われる、特定の時代にのみ生存していた化石を何という？
4. 地層ができた当時の年代を判断する手がかりとなる化石を何という？
5. 流水が地表を削り取る作用を指す言葉は何か？
6. 地震そのもののエネルギーの大きさを示す尺度を何という？
7. 地震波のうち、伝わる速さが速い波によって生じる最初の小さな揺れを何という？
8. 地震の波のうち、進行方向に沿って地面を押し引きする形で進む波を何という？
9. 地震が発生した地球内部の最初の場所のことを何という？
10. 浅い海に生息し、かつてその場所が温かい環境であったことを推測させるのに用いられる化石を何という？
11. 地震発生時に観測地点へ先に到達する、最初の小さな揺れのことを何という？
12. 火山の噴火によって放出され、広範囲に短期間で堆積するため、地層の対比において重要な役割を果たす層を何という？
13. 左右から押される力が加わることで、岩盤がずれてできる地形を何という？
14. 砂や泥などが長い時間をかけて積み重なり、押し固められてできたものを何という？
15. 地震において、主要動の前に観測される最初の小さな揺れを何という？
16. 火山灰層が地層の対比に役立つとき、特に基準となる地層を指して何という？
17. 火山から勢いよく噴出した細かな破片が堆積し、長い時間をかけて固まってできた堆積岩のことを何という？
18. 深成岩において、結晶がほぼ同じ大きさで、すき間なく組み合わさっている組織を何という？
19. 地下のマグマが地表に噴出し、急激に冷えて固まった岩石を何という？
20. 火山活動によって噴出し、広い範囲に短期間で堆積したため、地層の比較や対比に役立つ層を何という？
21. 火山が噴火し、地表付近で急激に冷やされた岩石の中で、比較的大きく育った結晶のことを何という？
22. 火山岩の斑状組織において、石基の中に含まれる、比較的大きく成長した結晶のことを何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「火山・地震・地層」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.7 火山・地震・地層

言えた　／22

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	粒の大きいものから順に「れき（礫）」、砂、泥という順番で堆積します。	れき	□
2	斑れい岩は、深成岩に分類される岩石です。	斑れい岩	□
3	示準化石とは、ある特定の短い期間に広範囲で生息していた生物の化石を指します。	示準化石	□
4	示準化石は、広い範囲に分布し、かつ特定の短い期間にだけ生息していた生物の化石です。	示準化石	□
5	侵食とは、流水が地面や岩石を削り取る作用のことです。	侵食	□
6	マグニチュードは、震源で放出されたエネルギー量を数値化したものです。	マグニチュード	□
7	震源から発生した地震波のうち、P波と呼ばれる伝わる速度が速い波が先に到達することで起こる小さな揺れを初期微動と呼びます。	初期微動	□
8	地震波には大きく分けてP波とS波があり、P波は縦波と呼ばれます。	縦波	□
9	地震波の発生源となるこの場所を震源と呼びます。	震源	□
10	サンゴは、主に温かく浅い海でしか生きることができないという特徴があります。	サンゴ	□
11	地震が発生すると、まず速度の速いP波が伝わり、地表に小さな揺れを引き起こします。これを初期微動と呼びます。	初期微動	□
12	火山灰層は一度の噴火で広範囲に飛散し、非常に短時間で積み重なるという特徴があります。	火山灰層	□
13	逆断層は、地殻が左右から強く圧縮されることで発生します。	逆断層	□
14	蓄積した砂や泥が、上からの圧力で押し固められることを続成作用といい、それによって形成される岩石を堆積岩と呼びます。	堆積岩	□
15	初期微動は、地震波の中で速度の速いP波が到着した際に起こる揺れです。	初期微動	□
16	そのため、離れた地点の地層を対比させる際に非常に有効な手がかりとなり、こうした地層を鍵層と呼びます。	鍵層	□
17	火山灰は噴火によって噴き上げられ、風に乗って遠方まで運ばれることもあります。これらが重なり、地層として蓄積したものが凝灰岩です。	凝灰岩	□
18	等粒状組織とは、ほぼ同じ大きさの結晶が組み合わさっている組織を指します。	等粒状組織	□
19	火山岩は、地下で一部の結晶が育ったマグマが地表付近で短い時間に冷えて固まるため、大きな結晶（斑晶）のまわりを、細かい結晶やガラス質の石基がうめた斑状組織を持っています。	火山岩	□
20	火山が噴火した際、火山灰などは風に乗って広い範囲に一気に降り積もります。このような堆積層を鍵層と呼びます。	鍵層	□
21	この大きな結晶のことを斑晶と呼びます。	斑晶	□
22	斑晶は、溶岩の急冷前に成長していた結晶です。	斑晶	□

言えなかった用語ノート